

事業概要シート

施策	0104	子育てと仕事の両立	<<>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	放課後児童クラブ施設整備事業	拡充	予算額 4,999 千円 << 0 >>千円
事業期間	平成10年度 ~		財源内訳 国庫支出金 900 千円 県支出金 900 千円 地方債 0 千円 その他 0 千円 一般財源 3,199 千円
根拠法令要綱等	子ども・子育て支援施設整備交付金交付要綱		

【事業の目的・概要・対象】

市所有の施設で運営する放課後児童クラブの施設の老朽化が進行しており、子どもの安全な居場所を確保するため、計画的な施設整備を行う。

●市所有施設で運営している放課後児童クラブ（築30年以上の施設のみ抜粋）

番号	施設名	竣工年月日	築年数	構造	延べ床面積(m ²)
1	ぶどう児童クラブ	昭和49年2月	49年	鉄骨造	122
2	さくらんぼ児童クラブ	昭和52年3月	46年	鉄骨造	245
3	三城児童クラブ	昭和50年3月1日	48年	鉄骨造	125
4	三城第二児童クラブ	昭和50年3月1日	48年	鉄骨造	125
5	とまと児童クラブ(大村幼稚園倉庫)	平成2年3月1日	33年	鉄骨造	50

●老朽化の現状

(1) さくらんぼ児童クラブ	中央小学校の敷地内の旧中央幼稚園の建物を改修して使用。
(2) ぶどう児童クラブ	【室内】壁や床の剥がれ・白蟻による被害・天井の雨漏り 【室外】外壁亀裂・テラス屋根の崩れにより鉄骨がむき出しになっている箇所あり
(3) 三城児童クラブ・	旧三城幼稚園の建物を使用。
(4) 三城第二児童クラブ	【室内】壁や床の剥がれ・天井の雨漏り・建物自体の軋みにより、トイレ等のドアの開閉が困難 【室外】外壁亀裂・雨どいの損傷
(5) とまと児童クラブ	大村幼稚園の倉庫であった建物を改修し、使用。 【室内】建物自体の傾き・天井の雨漏り・収納や広さの不足 【室外】外壁亀裂・入口のトタン屋根の老朽化・屋根の耐久性不足

①整備計画

番号	施設名	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	耐用年	定員
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
1	ぶどう児童クラブ	市長 ブレゼン							設計	解体・建替	2008	24
2	さくらんぼ児童クラブ								設計	解体・建替	2011	40
3	三城児童クラブ								設計・建替		2009	37
4	三城第二児童クラブ								設計・建替		2009	35
5	とまと児童クラブ(大村幼稚園倉庫)						設計・建替	外構・解体			2021	40

②上記のタイミングに建替える理由

(1) さくらんぼ児童クラブ	…大村市アセットマネジメント事業計画において、令和9年度からの中央小学校の
(2) ぶどう児童クラブ	建て替え計画に合わせて建設場所等の検討が必要なため。
(3) 三城児童クラブ・	…本クラブ周辺には、上下水道局、三城保育所、武道館等の市有地があり、将来的
(4) 三城第二児童クラブ	にはそれらの土地の一体的な利活用が想定される。 大村市アセットマネジメント事業計画において、令和7年度からの三城小学校の建て替え計画に 合わせ、本クラブの学校敷地内への移転等について検討する必要があるため。
(5) とまと児童クラブ	…令和4年度末に大村幼稚園が閉園しており、跡地活用について検討の必要 があるため。

③費用（1施設当たり）

単価	項目	金額	単位
①	新築工事	38,581	千円
②	新築工事設計	3,299	千円
③	新築工事管理委託	1,616	千円
④	解体工事設計	1,700	千円
⑤	解体工事	2,630	千円 (27,500円/m ²)
⑥	外構工事	12,100	千円

※ ①～⑤は1クラブあたり(床面積95.64m²)の単価
 ⑤は旧中央幼稚園解体時の単価で算出
 ⑥は旧中央幼稚園全体(敷地面積2,200m²)の単価

令和5年度については、大村市が設置し、運営を父母の会が行っているクラブ（公設民営）18クラブ、社会福祉法人等が行っているクラブ（民設民営）が38クラブの合計56クラブで行っている。令和2年3月に策定した「第2期おおむら子ども・子育て支援プラン」において、今後も利用児童数の見込み量が増加していくことから、地区ごとの状況を踏まえ、既存施設の定員増や新規開設を進めていく必要がある。
 また、市所有の施設を使用しているクラブについては、旧建築基準（S56.5.31以前）により建築され、耐震補強が行われておらず、老朽化も進んでおり、子どもの安全を確保するうえで、早急な対応が必要となる。

担当課	こども未来部こども政策課	課長	内野 一嗣
担当者	沖田 さよみ	問合せ先	0957-54-9100

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	放課後児童クラブの施設整備数	計画値 カ所	2	0	1	0	2
②		計画値					

【成果指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	放課後児童クラブの利用児童数	計画値 人	1,950	2,299	2,317	2,317	2,317
②		計画値					

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	合計
事業費	21,493	39,116	0	4,999	42,827	95,652	204,087
国庫支出金	14,329	26,200	0	900	22,654	47,108	111,191
県支出金	3,582	6,549		900	4,988	11,776	27,795
地方債				0			0
その他							0
一般財源	3,582	6,367		3,199	15,185	36,768	65,101
人件費	1,818	1,115	1,131	1,858	1,858	1,858	9,638
職員(人)	0.25人	0.15人	0.15人	0.25人	0.25人	0.25人	1.30人
時間外勤務(h)	0h	12h	20h	20h	20h	20h	92h
会計年度任用職員(人)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
フルコスト	23,311	40,231	1,131	6,857	44,685	97,510	213,725

妥当性 (市の関与)	利用児童数の増加への対応と保育環境の改善を図るためには、施設の新設及び老朽化している施設の建設は必要である。
有効性 (施策貢献度)	利用児童の安心安全な居場所を提供できる施設を確保することは児童福祉の充実に大きな効果があると期待できる。
効率性 (コスト)	地域における子育て支援、仕事と子育ての両立支援策としてその効果は大きく、負担は妥当である。

1次評価	評価者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり